

第27回御南学区3世代グランドゴルフ大会に参加して

田中野田町内会副会長
7組 中尾 三千義

去る11月15日(日)御南学区体協主催の御南小学校で行われた3世代交流のグランドゴルフ大会に参加させていただきました。

御南学区(今保、久米、田中、田中野田、西長瀬)から、小学生、一般、60歳以上の各2名6人が1チームとして各町内3チームで対戦しました。個人戦のみで団体戦は有りませんでした。

田中野田のメンバーは ①原(安)、横野(良)、横野(鈴)、沼、沼(小6) ②白石、中尾(三)、難波、久保、久保(小2) ③光延、中尾(謙)、福富、青木、青木(小3)の方々でした。(小学生の参加数が少し足りなかったようです。)

今年は新型コロナ禍の影響で、楽しみにしていた他の行事はほとんど中止となってしまいました。コロナ禍の中でこの大会を実行することについては大変なご苦労があったのではと想像します。大会のはじめと終わりに前田会長さんのご挨拶がありましたが、その中で、事故の無いようくれぐれも気を付けてくださいと何度も何度も繰り返しておっしゃられました。これは、コロナのことを言われたのだと私には思われました。(勿論マスクと消毒はみんなで徹底しておりました。それしか防御方法がないというのが本当に歯がゆい思いがしますが、早く終息してほしいと願っています。)

3世代の交流の大会ということで、親睦の意味の他にいろんな大事な意味を持っていると思います。ホールインワンをされた80代後半の凄くお元気なご婦人がおられました。私もかくありたいと思いきな拍手をおくりました。また元気のいい小学生もメンバー内におり、お父さんがその子の打った球のマーカーの置方やルールを優しく教えている姿を見ると、社会生活上のルールをさりげなく教えている事に通じるものがありほっこりしたのを感じました。また子からすると親や他の人のすることをその背中を見ながら自ら学んで勉強する機会でもあり、そういう意味からも大変有意義な大会だと思いました。

会長さんが来年も大会をやると言われていました。皆様もこのような3世代で1つのチームを組み、人と人との心のふれあい、世代の繋がり、尊い経験(少し大げさかな)ができる大会に参加をしてみるといいのではないでしょうか。コロナ禍のもと大会を運営して下さった方々のご苦労に対し改めて心より感謝を申し上げます。有難うございました。そして、我々にできるコロナ防御策(マスクの着用と小まめの手洗い)を再確認し、この第三波を乗り切りましょう。(令和2年11月25日記)

防災訓練に参加して

田中野田町内会副会長 4組 脇坂 利彦

去る11月23日、御南小学校で行われた御南学区の防災訓練に参加しました。訓練の内容は各町内会単位で担当消防団員の方の先導で土のう作り、受付訓練、マンホールトイレ設置、煙道体験、初期消火、負傷搬送を体験するものでした。

今年度からは避難所開設・運営訓練をメインテーマに開催されています。私は田中野田防災部員(施設担当)として避難者受入準備に参加する事ができ、コロナ感染防止に配慮した避難所開設・運営の大変さを実感できる良い経験でした。

防災訓練をきっかけに地域、町内に顔見知りが増えれば災害時の助け合いに繋がるかも知れません。年に一度ですが、地域ぐるみで防災意識を共有できる防災訓練に参加してみてもいいのではないでしょうか。

開会式で消防署の方が大事なことを話していたので要点のみ紹介しておきます。

①大規模な自然災害が発生した場合、消防署の能力はあまりにも少ない。

災害発生直後はそれぞれの現場で一定期間は何とかしなければならないのが現実です。

また、避難所開設、運営についても地域の協力・支援が必要です。

②各家庭に消防署員の様に身を守る為の知識能力を持った者が一人でも居れば心強い。

今回の様な防災訓練に参加体験して少しでも知識を身に付けていれば、いざと云う時に身を守る為の正しい判断、行動ができる。

最後に、訓練開催にあたりご尽力下さった各種団体、中学生ボランティアの皆さんありがとうございました。

